

Govmates Pit のアップデート内容について

平素より Govmates Pit をご利用いただき、誠にありがとうございます。

2025年8月6日(水)に以下の内容でアップデートを行いましたので、ご案内いたします。

【主な改善点】留意箇所のカテゴリ設定機能

○こんな声にお応えしました！

- ・担当業務に応じて、作業の留意箇所を視点別に整理・共有したい
- ・留意箇所の意図を明確にして、引き継ぎや職員間の情報共有をスムーズにしたい
- ・個人情報、財務、住民対応など、リスクの性質に応じて留意箇所を管理したい

○活用イメージ

- ・「留意カテゴリ」は管理画面から登録でき、業務の特性や組織の運用に合わせて柔軟に設定可能です。(管理者のみ)
- ・留意箇所をカテゴリ別に整理することで、担当者は自分の視点に合った留意箇所を記載・確認しやすくなります。
たとえば、「現場」「責任者」「法務」などのカテゴリを設定することで、役割に応じた留意箇所の共有が可能です。
- ・カテゴリ設定により、業務単位でのリスク管理や情報共有がスムーズになり、引継ぎや対応の質が向上します。
監査対応や内部統制の観点からも留意箇所の把握が容易になります。

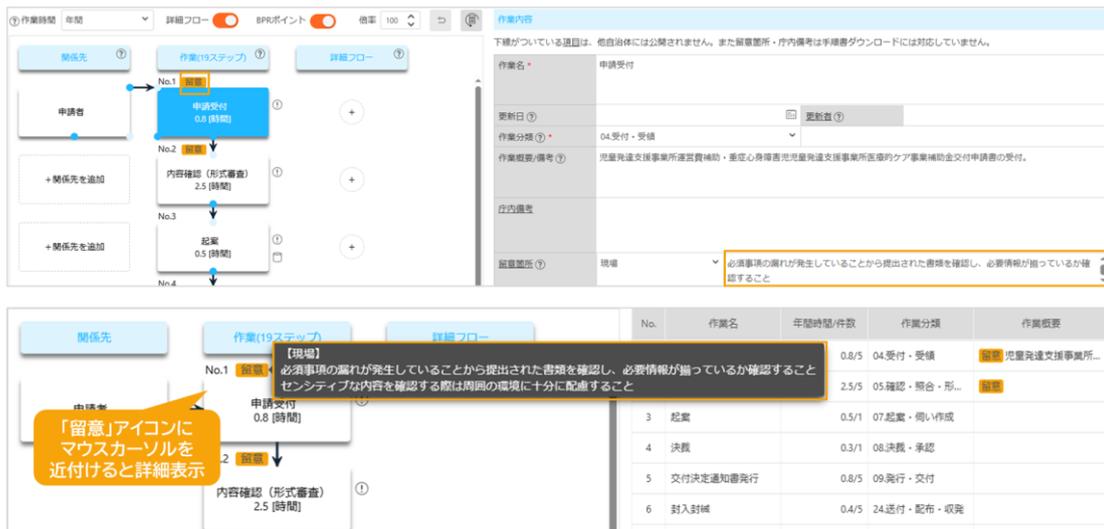


<<参考:留意箇所機能について>>

「留意箇所」機能は作業における注意点や特記事項を入力・共有できる機能です。

該当する業務フロー上の作業と作業一覧に「留意」アイコンが表示され、留意すべき内容を一目で把握できます。

なお、「留意箇所」は他自治体には公開されないため、内部向けの情報共有にご活用いただけます。



【主な改善点】留意箇所の絞り込み検索機能

○こんな声にお応えしました！

- ・複数業務の中から作業に留意箇所が設定されている業務だけを効率的に確認したい
- ・リスクの高い業務を優先的に把握し、対応漏れを防ぎたい
- ・監査や内部統制の観点から、特定のカテゴリに絞って業務を抽出したい

○活用イメージ

- ・「絞り込み検索」の「作業検索」で、設定された「留意カテゴリ」に応じて、対象業務を絞り込むことができます。
- ・「個人情報を扱う業務」や「法務観点での留意が必要な業務」など、特定のカテゴリに絞って確認することで、係長や課長など、複数業務を取りまとめる立場の方が、リスクの高い業務を効率的に把握・対応できます。
- ・引継ぎ時にも、優先的に確認すべき業務を漏れなく共有できるため、対応の抜け漏れ防止に役立ちます。



その他にも、ユーザビリティの改善も行っております。

機能の詳細につきましては、Govmates Pit へログインいただき「お知らせ」をご確認ください。

引き続き Govmates Pit を通じて、自治体の付加価値の高い行政サービスを提供できる環境を支援してまいります。